

防災ボランティアしんとう ～普通救命講習会～

消防団OBで構成されている防災ボランティアは、毎年、渋川広域消防署南分署員の方を講師に迎え、「普通救命講習会」を開催しています。



講習会は、大切な命を救うために必要な行為を迅速に途切れることなく行う重要性を表す「救急の連鎖」などを受講し、また、心肺蘇生法やAED(自動体外除細動器)の取扱いの実技等が行われました。

参加された会員からも活発な質問、意見が出され有意義な時間となったようです。

A…あなたでも E…いいこと D…できる AED

あの日の記憶から… 親子体験教室

親子(子どもは小・中学生)でおぢや震災ミュージアムそなえ館等で見学及び体験学習に参加していただき、震災等への備えや命の大切さについて、親子間または参加者同士で考えていただくことを目的として開催しました。



中越メモリアル回廊の3ヶ所で震災の記憶と記録、復興の軌跡にふれ、震災の備えや命の大切さについて親子で学んでいただきました。

中越地震大震災の時まだ生まれてきていない子どもたちもあり、見たり聞いたりするだけでなく質問をする子もいました。ゲーム形式やiPadを使用する情報の検索など子ども達だけでなく、親御さんも真剣になっている様子でした。